



関西国際空港株式会社
運用本部 オペレーション部
管理グループ
小形 敬
安全管理システム(SMS)担当

特集 2 航空機の安全運航を24時間支える 安全・安心な空港の実現のため、不断の努力を重ねる

2008年9月に、管制機関や航空会社などの空港内事業者で構成する「関西国際空港飛行場委員会」を設置し、関係者とともに、安全・安心な空港の実現を目指して、取り組みを強化しています。



航空機の離着陸の安全を支える航空灯火

空港内事業者が 一体となって空港全体の 安全性向上に取り組む

「安全はすべてに優先する」。私たちは関西国際空港の設置管理者として、航空機が安全かつ効率的に空港を利用できるよう、安全な空港運用を遂行する使命を担っています。空港内は、さまざまな気象条件のもとで、昼夜の別なく多くの航空機や多種多様な車両が行き来しており、事故やインシデント※1が発生しやすい環境にあります。このため、私たちは、2008年から国際民間航空機関(ICAO)の基準に基づいて、「安全管理システム(SMS)」をスタートさせました。

SMSは、従来の事後的な安全対策による再発防止に加え、あらかじめ不安全事象を収集し、危険を想定した上で改善策を講じることにより事故を防止し、安全性を高めるシステム(手法)です。SMSを確実に実施していくため、2008年1月、社内に「関西国際空港飛行場安全管理委員会」を設置。同年9月に当社が主体となって、管制機関や航空会社などの空港内事業者約20社で構成する「関西国際空港飛行場委員会」を置き、互いに連携を図りながら、空港の安全性向上に取り組む体制を整えました。協同の委員会を設置したことで、安全に関する情報共有および議論が円滑に進むようになり、従来よりも不安全事象に迅速に対応できるようになりました。

※1 インシデント：重大事故に至る可能性のある事象

小さなことも見逃さない 日々の点検が 空港の安全を支える

関西国際空港では、24時間航空機が離着陸し、駐機場周辺では貨物・手荷物輸送、給油作業、航空機牽引などの車両が絶えず行き交っています。

私たちは、航空機の安全運航を確保するため、滑走路、誘導路、駐機場や航空灯火などの点検・メンテナンスを行っています。昼夜を問わず安全チェックを行い、どのような小さなことも見逃さないように努めるとともに、いざとなった場合に備えて24時間の施設応急態勢や緊急事態に即応できる消火・救難態勢をとり、訓練を行っています。

空港の舞台裏を支えているのは、このような地道な日々の点検と、不測の事態に備えた不断の努力です。私たちは、業務の責任の大きさを自覚しながら、



24時間体制で安全を見守るオペレーション室

事故のない安全な空港運用を目指しています。

責任の重さを自覚して、 事業者と連携しながら 安全管理体制を築く

2009年度は、空港の安全性向上を図るため、制限区域内の事故発生件数20%削減を目指しています。制限区域内の事故で最も多いのが、カートや貨物を運ぶ車両の事故。これらの事故原因の約8割が確認不足などの人的なミスです。そこで、飛行場委員会でヒヤリ・ハット情報や事故情報を積極的に収集・共有し、事業者と事故の未然防止や再発防止を呼びかけています。

今後は、私たちと事業者が一緒になって空港内の安全パトロールを行い、安全推進活動を通じて意識啓発に努めたいと思っています。



滑走路の安全点検



航空機を滑走路に導く進入灯のメンテナンス



24時間体制で消火・救難態勢をとる自衛消防隊



航空機事故消火救難総合訓練

航空機の出発業務の 安全を確保する

私たちは、海外航空会社を中心に、航空機の出発に必要なすべてのハンドリング業務を担っています。ランプコーディネーターが、1便ごとにお客様の搭乗と降機の接遇、貨物や手荷物の搭載、機内食の手配、燃料の供給などを統括し、出発状況を管理監督しています。クルーと地上の橋渡し役として、安全な定時出発を見守るのが腕の見せどころ。出発前はランプエリア※2を走り回っています。

※2 ランプエリア：空港内における航空機の駐機や乗客の乗降、荷物の積み降ろし、給油などを行うために設けられた区域

日々のフライトスケジュールはKIACオペレーション室と調整し、イレギュラーな航空機の受け入れなど、円滑な業務に努めています。また、輸送の安全管理のため定期的にランプエリアをパトロールして、決められたことがきちんと守られているかどうか、時間の許す限り現場の作業を見るよう心がけています。

飛行場委員会が設置され、ランプエリアの従事者から広く情報を共有できるようになり助かっています。今後も安全に定時に効率良く航空機が出発できるよう空港全体で取り組みます。



キャセイ関西ターミナルサービス株式会社
旅客部 搭載課 課長代理
東上 恒彦氏